学校番号	328

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	セミナーノート生物（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次の「生物基礎」、２～３年次の「生物」の全範囲を総復習するとともに、問題演習を通して解答を得るための思考力を強化し、種々の出題パターンに慣れ、解答スピードを身に付けます。あらかじめ問題を解いておく（予習）ことが前提で、授業では解説を行います。授業で扱った問題は自宅で復習し、知識・解法を定着させます。
また、実験を通して身近な生物現象に対して興味・関心を持ち、生きていく上で必要な科学的知識を身に付けます。

2　学習の到達目標

a:知識及び技能
生物の構造や様々な生物現象、生物間の関係や環境とのかかわり方について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、得た知識を用いて発展的な応用問題に取り組むことができる。
b:思考力、判断力、表現力等
生物の構造や様々な生物現象、生物間の関係や環境とのかかわり方に関する事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
c:学びに向かう力、人間性等
日常生活や社会との関連を図りながら生物の構造や様々な生命現象、生物間の関係や環境とのかかわり方について関心をもち、意欲的に探究しようとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識及び技能	b:思考力、判断力、表現力等	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。 生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元・学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
１学期	第１編 生物現象と物質 １章　細胞と分子 １　生体物質と細胞 ２　細胞膜の働きとタンパク質 ３　さまざまなタンパク質の働き ２章　代謝 １　代謝とエネルギー ２　炭酸同化 ３　窒素同化 ４　異化 ３章　遺伝情報の発現 １　遺伝情報とその発現 ２　遺伝子の発現調節 ３　バイオテクノロジー 第２編　生殖と発生 ４章　生殖と発生 １　有性生殖における遺伝的多様性 ２　動物の配偶子形成	a：既習分野において、実験問題の考え方や定理・解法など、大学入試における基本的な考え方や重要事項を再確認する。入試頻出問題のうち、基本～標準レベルの問題の解法を自ら導き出せるようになる。 b：既習分野において、入試頻出問題のうち、標準～応用レベルの問題の解法を自ら導き出せるようになる。実習実験やレポート作成において、事象を科学的に理解し、問題解決まで導くことができる。 c：実習実験やレポート作成等、主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物 実習実験 レポート	提出物 実習実験 レポート 授業態度
２学期	３　動物の発生 ４　動物の発生における形態形成のしくみ ５　植物の発生 第３編　生物の環境応答 第５章　生物の環境応答 １　植物の環境応答 ２　動物の環境応答 ３　動物の行動 第４編　生態と環境 ６章　生物群集と生態系 １　個体群と生物群集 ２　生態系の物質生産 ３　生態系と生物多様性 第５編　生物の進化と系統 ７章　生物の進化 １　進化のしくみ ２　生物の起源と生物の変遷	a：既習分野において、実験問題の考え方や定理・解法など、大学入試における基本的な考え方や重要事項を再確認する。入試頻出問題のうち、基本～標準レベルの問題の解法を自ら導き出せるようになる。 b：既習分野において、入試頻出問題のうち、標準～応用レベルの問題の解法を自ら導き出せるようになる。実習実験やレポート作成において、事象を科学的に理解し、問題解決まで導くことができる。 c：実習実験やレポート作成等、主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物 実験実習 レポート	提出物 実験実習 レポート 授業態度

3学期	8章　生物の系統 1　生物の分類の変遷と系統 2　生物の系統関係	a: 既習分野において、実験問題の考え方や定理・解法など、大学入試における基本的な考え方や重要事項を再確認する。入試頻出問題のうち、基本～標準レベルの問題の解法を自ら導き出せるようになる。 b: 既習分野において、入試頻出問題のうち、標準～応用レベルの問題の解法を自ら導き出せるようになる。実習実験やレポート作成において、事象を科学的に理解し、問題解決まで導くことができる。 c: 実習実験やレポート作成等、主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物 実験実習 レポート	提出物 実験実習 レポート 授業態度

※表中の観点について a:知識及び技能　b:思考力、判断力、表現力等　c:主体的に学習に取り組む態度